

令和元年度「花と緑の東京募金」実績報告

花と緑の東京募金に御協力いただきまして、ありがとうございました。

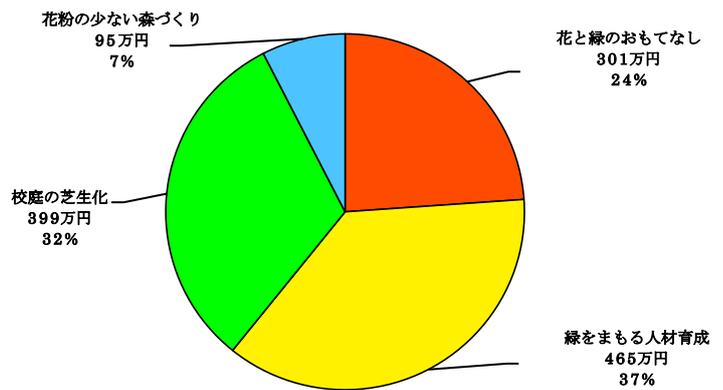
令和元年度募金額 (H31.4~R2.3) 12,596,250 円

1 令和元年度募金額

平成 28 年 7 月に「緑の東京募金」からリニューアルした「花と緑の東京募金」は、令和元年度は 113 件、12,596,250 円の御寄附をいただきました。

募金事業指定の内訳は、右図の通りとなっております。

御協力ありがとうございました。



<募金事業指定の内訳>

2 募金充当額

「花と緑の東京募金」は、次の 4 つの事業に充当します。

花と緑のおもてなし



緑をまもる人材育成



校庭の芝生化



花粉の少ない森づくり



令和元年度は、4 つの事業合わせて 35,164,918 円 を取り崩して充当いたしました。平成 28 年度からの累計の充当額は 107,173,140 円 となりました。

残額は令和 2 年度以降の事業に充当させていただきます。

皆様から寄せられた花と緑の東京募金は、「花と緑のおもてなし」

「緑をまもる人材育成」「校庭の芝生化」「花粉の少ない森づくり」

の 4 つの事業の推進に役立たせていただきました。

3 募金充当事業の実績

I 花と緑のおもてなし

令和元年度は、市街地に新たに「花と緑」を創出する「花の都プロジェクト」として、江戸川区、葛飾区及び調布市に補助を行いました。

「花の都プロジェクト」は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の開催に向け、街を花と緑で彩る取組を推進するため、区市町村が地域等と連携して行う、「花と緑」を創出する社会実験事業に補助をする事業です。

プランター等を用いて草花を植栽する費用などに「花と緑の東京募金」を充当しています。

(令和元年度の補助対象事業)

●江戸川区「みんなのアートプランター」

江戸川区では、区内の児童・生徒を対象にした絵画コンクールを実施し、入賞作品を活用したプランターを制作しました。このプランターは、東京 2020 大会カヌー・スラローム競技会場近くの葛西臨海公園駅前に設置され、花によるおもてなしを演出しています。また、地域の小学生とともに、プランターへの花苗の植付けを行いました。花苗の植替えや花柄摘みは、今後も地域の小学生が実施していきます。



●葛飾区「夏を彩る花の修景」

葛飾区では、どこでも水やりおまかせ型フラワーモニュメント「フラワーメリーゴーランド」を、JR 亀有駅北口と北総線新柴又駅前に設置しました。また、新たに「花苗里親制度」を開始しました。花苗里親制度は、フラワーメリーゴーランドに使用する補植用花苗を、区民ボランティアが育成する制度です。フラワーメリーゴーランドの維持管理は、昨年度に引き続き緑化推進協力員と花いっぱいサポーターが実施しており、花によるおもてなし事業への区民参加意欲が高まっています。



●調布市「飛田給駅・調布駅周辺花いっぱい事業」

調布市では、ラグビーワールドカップ大会で多くの人が訪れた飛田給駅と調布駅に、花壇・コンテナ・フラワーメリーゴーランドなどを設置しました。また、「花いっぱいサポーター養成講座」を実施し、市民ボランティアの育成を図りました。講座受講生は、講師とともに花壇などの維持管理にも携わっており、市民協働による活動の定着化につながっています。



Ⅱ 緑をまもる人材育成

令和元年度は、保全地域で活動するボランティア活動団体への支援業務として、30 団体に剪定はさみやヘルメットを支給しました。

東京都では、都内に残された貴重な自然地の保護と回復を図るため、自然保護条例に基づき保全地域を指定しています。保全地域では、ボランティア団体が、下草刈りや樹木の間伐などの緑地保全活動を行っています。



<ボランティア団体への用具支給>

(参考)普及のための取組

●東京グリーンシップ・アクション

都民の幅広い層に環境に対する関心を高めてもらうため、「東京グリーンシップ・アクション」を実施しています。「東京グリーンシップ・アクション」とは、企業等の社会貢献の場として保全地域を活用する取組で、令和元年度は23の企業等が保全地域で緑地保全活動を行いました。



<東京グリーンシップ・アクションの様子>

●保全地域体験プログラム

東京都では、保全地域で緑地保全活動を体験できるプログラムを実施しています。

都民に緑地保全活動の魅力を感じてもらうことで、新たなボランティア人材の掘り起こしと定着を図っています。

令和元年度は、838名が体験プログラムに参加しました。



<体験プログラムの様子>

●情報サイト「里山へGO！」

緑地保全の活動情報を提供するため、森林・緑地保全活動情報サイト「里山へGO！」を運営しています。「里山へGO！」では、体験プログラム等の活動情報を公開しており、ボランティア参加希望者とボランティア活動団体や活動場所のマッチングを図っています。

(URL)

<https://tokyo-satoyama.jp/>



Ⅲ 校庭の芝生化

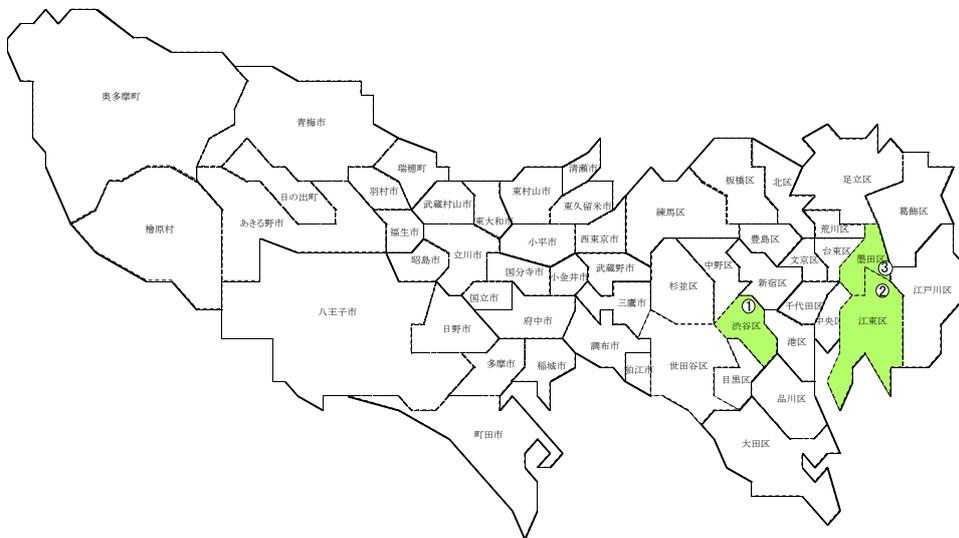
令和元年度は、「校庭芝生化」のために東京都が補助した公立小学校3校の芝張り工事経費の一部(合計1,839㎡)に「花と緑の東京募金」を充当しました。

各学校に合った様々な形態での芝生化を支援しています。

<グラウンドの一部を芝生化した学校>



<令和元年度に校庭を芝生化した学校>



区市町村	学校名
渋谷区	① 鳩森小学校
江東区	② 香取小学校
墨田区	③ 東吾嬬小学校

(参考) 普及のための取組

● 令和元年度までの芝生化の取組

東京都では、校庭芝生化の初期工事をはじめ、専門的維持管理等を支援し、公立小中学校でこれまでに、525校が芝生化されました。

● 「校庭芝生の親方・匠」の認証等

芝生の維持管理に継続的に取り組み、一定の成果を上げている教職員又は地域の個人に対して、平成24年度から「校庭芝生の親方・匠」として認証を行っています。



<令和元年度「校庭芝生の親方・匠」認証者>

令和元年度は新たに12名の認証を行いました。認証式の後には、「校庭芝生の親方・匠」認証者が、校庭芝生の維持管理等に関する取組を校庭芝生リーダー養成講座において発表しました。

Ⅳ 花粉の少ない森づくり

令和元年度の「花粉の少ない森づくり」の植栽面積は、36.24ha、104,030 本です。このうち、「花と緑の東京募金」を充当し 2.82ha に 8,460 本の花粉の少ないスギ等を植栽しました。

「花粉の少ない森づくり」では、スギやヒノキ等の人工林を伐採し、花粉の少ないスギ等を植栽することにより樹種更新を図り、発生するスギ花粉量の削減を目指しています。

伐採跡地等に植える苗木の購入、植栽にかかる費用に「花と緑の東京募金」を充当しています。

なお、植栽された花粉の少ないスギは、現在、順調に成長しています。さらに、森林の更新を促進させるため、「東京の木多摩産材」の更なる利用拡大に向け、取り組んでいます。



<植栽される花粉の少ないスギ>

令和元年度 花粉の少ない森づくり植栽実績



<TAKA0599MUSEUM での木工教室>



<東京ヴェルディとのコラボイベント>

(参考)普及のための取組

東京都と公益財団法人東京都農林水産振興財団では、スギ・ヒノキ林の伐採と花粉の少ないスギ等の植栽を促進するため、「花粉の少ない森づくり」のPRを行っています。

(花粉の少ない森づくり運動ウェブサイト <https://moridukuri.tokyo/>)



●上野の動物たちの LINE スタンプ

(公財) 東京動物園協会デザイン監修による LINE スタンプを 2018 年 11 月 9 日から販売しています。スタンプの販売収益は、多摩の森を花粉の少ない森に変えていく「花粉の少ない森づくり」と「東京動物園協会野生生物保全基金」への募金となります。



<上野の動物たちの LINE スタンプ発売中!>

ストア URL : <https://store.line.me/stickershop/product/4916661>

4 その他の取組

I イベント等での周知・募金活動

令和元年度は各種イベントやフォーラムにおいて、パンフレットや花の種などを配布し、「花と緑の東京募金」の周知活動を行いました。

II 企業の皆様との連携

令和元年度も様々な企業・団体等の皆様から募金活動に御協力をいただきました。ありがとうございました。

●商品の売上と連動した募金

<主な取組例(敬称略)>

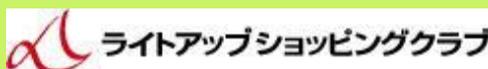
○株式会社伊藤園



○株式会社いなげや・日本ハムマーケティング株式会社



○株式会社ライトアップショッピングクラブ



●金融商品と連動した募金

<主な取組例(敬称略)>

○興産信用金庫(エコグリーン定期預金)



●レジ袋有料化に伴う収益金の募金

(敬称略)

○株式会社ヨーク



今後とも、皆さまの御協力をお願いいたします！

■ 花と緑の東京募金に関するお問合せ
東京都環境局自然環境部計画課募金担当
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
都庁第二本庁舎 19 階
TEL 03-5388-3595 FAX 03-5388-1379
ホームページ <http://www.midorinotokyo-bokin.jp>

令和2年9月作成